

ジンコソーラーは NextEra Energy と 2750MW のモジュール供給契約を締結

3月30日、世界をリードする太陽光発電会社ジンコソーラー（NYSEコード：JKS）は世界市価最高の電力会社アメリカ NextEra Energy と協力契約を締結したと公表しました。該当プロジェクトはジンコソーラーが今まで、最大の案件となっております。契約により、ジンコソーラーがこれからの4年間で NextEra Energy に 2750MW（約700万枚）の高効率モジュールを提供します。

NextEra Energy は今まで市価最高の公共事業上場会社で、市価は約730億ドルとなります。アメリカとカナダの33州で約14000社員を雇い、年間発電量約47000MWがあります。NextEra Energy が世界リードしているの再生可能エネルギーのプラットフォームとなります。2017年から2020の間で7000MWの風力発電と太陽光発電案件を開発する予定です。ジンコソーラーが先進的な技術、製本の品質、サービスとプロジェクトの融資性があります。両社が強力的な連携することは、新エネルギー業界の地位を強固にするだけでなく、大幅にコストを下げることができ、もっと多くのユーザーを獲得することができます。それにより、ウィンウィンして、持続可能な発展を実現します。

「NextEra Energy はアメリカで太陽光発電プロジェクトの全力に投資しています。弊社はジンコソーラーと同じ、価格で競争力がある清潔のエネルギーを推進しています。」と NextEra Energy の取締役会長兼 CEO Jim Robo がコメントしました。

「NextEra Energy との協力につきまして、オーダーの規模以外に、我々は長期の協力関係をもっと重視します。ジンコソーラーの技術と製品は業界で長期的な試練を経て、持続的な向上を実現しました。2016、ジンコソーラーは6.65GWの出荷量で、世界一になりました。2017年にはこの基礎で47%の成長を実現し、出荷量が9.7GWに達成し、再び世界一を保持しました。ジンコソーラーに対して、アメリカでの長期的なパートナーシップを非常に重視しています。この度、両方が共同な望みと企業の持続可能な経営理念にもとづいて、ジンコソーラーの製品が高度な可融資力、卓越なサービスと業界の認知度により、協力できたのです。」とジンコソーラーの CEO 陳康平が今回の協力の原因と意義を説明しました。

ジンコソーラー（JinkoSolar Holding Co., Ltd.）について

ジンコソーラー（NYSE: JKS）は太陽光発電産業のグローバルリーダーです。ジンコソーラーは中国、米国、日本、ドイツ、英国、チリ、南アフリカ、インド、メキシコ、ブラジル、アラブ首長国連邦（UAE）、イタリア、スペイン、フランス、ベルギー、その他の諸国・地域にあるさまざまな公益、商業、居住区顧客基盤に対し、自社ソーラー製品を供給し、自社ソリューションとサービスを提供、販売。ジンコソーラーは2017年9月30日時点で、垂直統合ソーラー製品バリューチェーンを構築して、シリコンインゴットとウエハーで7.0GW、太陽電池で4.5GW、太陽光発電モジュールで8.0GWの年間総発電容量がある。

ジンコソーラーは中国（5）、マレーシア、ポルトガル、南アフリカに8つの生産施設、中国（2）、イギリス、ブルガリア、ギリシャ、ルーマニア、アラブ首長国連邦は、ヨルダン、サウジアラビア、クウェート、エジプト、モロッコ、ガーナ、ケニア、コスタリカ、コロンビア、ブラジルとメキシコに18の世界販売オフィス、日本（2）、シンガポール、インド、トルコ、ドイツ、イタリア、スイス、アメリカ、カナダ、メキシコ、ブラジル、チリ、オーストラリアや南アフリカに15の海外子会社を持ち、従業員計1万5000人以上を雇用しております。

〒104-0031

東京都中央区京橋二丁目2番1号京橋エドグラン9階

代表電話：03-6262-6009

FAX：03-6262-3339

ホームページ：<http://www.jinkosolar.com/index.html?lan=jp>